

ならしの市議会

平成24年(2012年)8月1日 第155号

子ども医療費助成拡充を可決 ～12月1日診療分から～



こどもセンターで、おかあさんも一緒に楽しもう(7月13日)

議案第32号 習志野市子どもの医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
内容 本案は、現在、0歳から小学校3年生までの

答活動拠点としてのコミュニティ施設の設置、活性化に向けたイベント等の開催、ホームページ等の開設と運営、勉強会や先進事例の視察を予定しています。

問 商店街活性化連携協働事業は、津田沼ワイがや通りの活性化を行うとのことだが、どのような内容となるのか。
答 活動拠点としてのコミュニティ施設の設置、活性化に向けたイベント等の開催、ホームページ等の開設と運営、勉強会や先進事例の視察を予定しています。

補正の内容は、子どもの医療費等助成事業、災害対応事業(環境調査)、商店街活性化連携協働事業、市街地液化化対策事業について予算を計上しようとするものです。

内容 本案は、歳入歳出予算それぞれ1千496万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を51億9千364万2千円にしようとするものです。

議案第29号 平成24年度習志野市一般会計補正予算(第2号)

可決された主な議案概要

平成24年第2回定例会は、6月4日から29日まで26日間の会期で開催され、議案11件が審議され、すべての議案が可決・同意・承認されました。請願・陳情については44件が、議員提出の発議案については6件がそれぞれ審議されました。一般質問は24人の議員が行い、市政に関する諸問題について活発な議論が展開されました。また、6月20日及び21日に各常任委員会が、22日に一般会計予算特別委員会及び議会運営委員会が開催されました。

議案第33号 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書について

可決された主な意見書

問 通院に係る医療費助成は、小学校3年生までが対象となっているが、他市町村はどうなっているのか。
答 市単独事業で中学校3年生まで助成を実施している市町村は、県内で13市8町1村あります。

問 通院に係る医療費助成は、小学校3年生までが対象となっているが、他市町村はどうなっているのか。
答 市単独事業で中学校3年生まで助成を実施している市町村は、県内で13市8町1村あります。

内容 本案は、歳入歳出予算それぞれ1千496万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を51億9千364万2千円にしようとするものです。

入院・通院、並びに、小学校4年生から6年生までの入院を対象に、市民税所得割課税世帯については、通院1回、又は入院1日につき300円の自己負担をいただき、実施している子どもの医療費等の助成対象年齢を、県の制度と歩調を合わせ、入院の助成対象年齢を中学校3年生までに拡大しようとするものです。

内容 本案は、歳入歳出予算それぞれ1千496万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を51億9千364万2千円にしようとするものです。

採択(送付)された主な請願 陳情
受理番号第1210号 谷津干潟遊歩道(公園住宅側)に関する陳情

採択(送付)された主な請願 陳情

内容 谷津干潟遊歩道の自転車乗り入れ禁止を徹底し、以前のように安心して散歩を楽しめる遊歩道にしたい。

内容 JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業施行地区内の住居表示変更に関する陳情

内容 JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業施行地区内の住居表示を「奏

の杜」に変更し、周辺と区分し明示していただきたい。

内容 1、中学校卒業まで、入院・通院ともにこどもの医療費を無料にしたい。2、入院・通院時の窓口負担をなくしていただきたい。3、こどもの医療費等の助成事業に所得制度を設けたい。

内容 1、中学校卒業まで、入院・通院ともにこどもの医療費を無料にしたい。2、入院・通院時の窓口負担をなくしていただきたい。3、こどもの医療費等の助成事業に所得制度を設けたい。

議会の日程

平成24年 第2回定例会

月 日	内 容
6月4日(月)	開会 議案第29号～議案第39号について(提案理由の説明)
6月11日(月)	議案第29号～議案第34号及び議案第39号について(議案質疑) 議案第35号～議案第38号について(議案質疑～採決)
6月12日(火)	一般質問(4人)
6月13日(水)	一般質問(4人)
6月14日(木)	一般質問(4人)
6月15日(金)	一般質問(4人)
6月18日(月)	一般質問(4人)
6月19日(火)	一般質問(4人)
6月20日(水)	建設常任委員会 総務常任委員会
6月21日(木)	環境経済常任委員会 文教福祉常任委員会
6月22日(金)	一般会計予算特別委員会 議会運営委員会
6月29日(金)	議案第29号～議案第34号及び議案第39号並びに受理番号第1210号、受理番号第1213号～受理番号第1223号及び受理番号第1227号～受理番号第1235号について(委員長報告～採決) 受理番号第1211号、受理番号第1224号～受理番号第1226号及び受理番号第1236号～受理番号第1254号(閉会中継続審査の件) 発議案第1号～発議案第6号について(提案理由の説明～採決) 閉会

内容 谷津干潟遊歩道の自転車乗り入れ禁止を徹底し、以前のように安心して散歩を楽しめる遊歩道にしたい。

内容 JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業施行地区内の住居表示変更に関する陳情

内容 JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業施行地区内の住居表示を「奏

の杜」に変更し、周辺と区分し明示していただきたい。

内容 1、中学校卒業まで、入院・通院ともにこどもの医療費を無料にしたい。2、入院・通院時の窓口負担をなくしていただきたい。3、こどもの医療費等の助成事業に所得制度を設けたい。

叙勲
高橋 司 元議長が「旭日双光章」を受章
高橋氏は、平成三年の統一選挙で初当選以来、連続五期二十年にわたり市議会議員として習志野市の発展に貢献されました。



この間議会では、総務常任委員会委員長、建設常任委員会委員長や一般会計並びに特別会計予算特別委員会委員長等を歴任され、平成十九年に第二十四代議長に就任され、数多くの功績を残されました。



おめでとう！ 議長賞贈呈

習志野高等学校 吹奏楽部が第35回全日本アンサンブルコンテスト 高校の部 金管八重奏において金賞を受賞しました。
また、習志野高等学校 体操部 早坂航太さんが第28回全国高等学校体操競技選抜大会 男子種目別 あん馬において優勝に輝きました。

元気な習志野をつくる会

元気な習志野をつくる会
確実な計画と実行を！

事業仕分けの前提となる事務事業評価が活用されていないが、真剣に取り組むべきではないか？

本評価でPDCAサイクルを実施する重要な作業であることから、事業見直し、改善や経費の効率化等重要なチェックとして実際に活用できるよう改善を進めていく。

特養ホームの待機者解消策について

今年度まで継続された国の補助金(約2倍)の積み上げを活用して既存施設設置者に増設を促す。さらに、低所得者への配慮から、多床(4人部屋)式の設置促進を国に要望する。

高齢者見守りについて
この1年間で新聞配達業者から1件の通報しかないが、その実効性の改善が必要でないか？

今後は、見守りが必要なケースの頻度を高めるため、リストアップ調査をし、体制構築を図る。

仮庁舎の安全確保。設備の固定化について

仮庁舎は新耐震基準のため安全性は確保されている。備品については高さの低いもので対応。横滑り対策は施工状況を見て安全対策を施していく。

学校の緊急地震速報導入について

現状は個人の携帯電話で対応。今後は緊急地震速報を含めた防災情報の

活用について研究していく。

仮庁舎の緊急地震速報導入について

現状考えはなし。経費のこともあるので移転完了までに検討し進めたい。

市内でも水害が発生しているが、水防訓練についての考えを伺う

情報伝達訓練は行っている。実働訓練については行っていない。本市でも数年の間水害が発生していることから水防訓練についてもその必要性を検討していく。

新たな公共交通システムへの取り組みは

今年度、高齢者外出支援事業を実施。アンケート調査結果を踏まえ今後地域公共交通会議を設置し平成25年度中に東習志野実効地域で実験的な運行を実施予定。

高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画の概要について

周知を図り、関係部署と連携し取り組みを進める。

食育基本法に対する本市の取り組み状況は

本市の特色を生かしながら、関係部署と連携を密にし、推進に取り組み。スポーツ施設予約システムの進捗状況は

本市のスポーツ環境を支えてきた定期利用団体に對しても理解していただけるよう努める。

実効5丁目市有地活用事業の進捗状況は
本年6月に再度民間事業者の公募を開始し、2年以内に建設の予定。
療養休暇給与満額、長期休養(1年目給与

80%、2年目以降の給与は共済保険で補填)している職員の現状は

療養休暇(120日以内)は平成23年度107人、長期休養者120日を超え3年以内)は、27人。それに支払った給与は3年4カ月で1千100万円/人、27人分で約3億円になる。

職員の約1割が休職とは情けない。本市は療養休暇120日、他市は90日だがどうする？また長期休養通期3年で分限免職になる指針が人事院から出されているが本市はどうするのか

よく検討して組合と協議していく。

液状化の影響により道路同様宅地内にも空洞が発生していると思うがどのようなことが考えられるか。また、行政として支援策はあるのか

あくまでも想定であるが固い地盤まで打ち込まれた基礎杭のある建物の基礎コンクリートとその地盤との間に空隙が発生する可能性は高いと考えられる。また、支援策としては相談をいただければ空洞化対策工事を実施できる施工業者の紹介や道路空洞化調査結果を情報提供等することによって近接する宅地の参考にさせていただきたい。

燃えるごみの中の生ごみの量は何%と認識し、一般家庭からの燃えるごみの水分量が下がった場合清掃行政にどのようなメリットが考えられるか

平均25%であり、ごみの量が減少するだけではなくごみの発熱量が上がること

ことでコークスなどの助燃材等の使用が減少し、処理費用の削減や二酸化炭素の発生量を減らすことができる。また集積所の美化にもつながる。



きくたことまつりオープニング
(7月7日 菊田公民館)

公明党

市民の生命を守る防災・減災対策の推進を！

子育て支援に係るアンケート調査の分析結果及び組織と人事について

①職員の資質と専門性
②関係機関の連携
③情報発信に集約され「ハード」から「ソフト」へ。「全体」から「一人一人」へと変化するニーズに的確に対応すべく「人材育成」と「組織強化」を図る。

要望特別支援を要する児童・生徒の「道標」となる「個別指導計画」作成状況を質す。「なぜ作成できないのか?」学校と教育委員会の温度差等を指摘し反省を促す。さらに早急な対応と関係機関との連携強化をしてほしい。

債権管理一元化について

平成23年度末で33億円もの滞納額がある。その債権管理の制度面・運用面・組織・人員体制等

を検討し、「条例」を今年度制定、来年度は「債権管理課」を設立する。

谷津2・3・4丁目地域の高潮等による浸水対策は

平成24年度は浸水箇所の設計・整備方法等を定め平成25年度から具体的に進める。

液状化対策の状況は?

復興のガイドラインを作成し、相談会を開催予定。

海岸護岸の管理は?

早期に千葉県が管理するよう協議を重ねる。

海抜表示の設置は?

小・中学校に順次設置。

災害に強いパークシステムを導入

習志野の森など防災拠点となる公園を検討する。

菊田川跡地の整備は?

本年度、藤崎調整池までの230mを整備する。

障がい者の就労支援は

様々な就労支援をする。

緊急時一時支援は?

自主防災組織について
現在までの組織率と普及活動について伺う

現時点では62%となっており毎年3組織の新規設立を目標に平成26年度末までに70%整備率を目指し様々な機会を通じて新規結成を呼び掛けていく。

熱中症対策について

今後公共施設の入口にポスターを掲示し市民が涼む場所の提供を行っていききたい。

要望公園の熱中症対策も検討をいただきたい

市長の政治姿勢について
次期基本構想・基本計画策定にあたり「孤立から「支えあい」の社会を目指す」というビジョンを示す必要があると思う

ソーシャル・インクルージョンの考え方を進め、地域で支えあう習志野版協働型福祉社会を目指す。

公共施設衛生問題について

今後25年間程度の建てかえ計画(案)を策定し次期基本計画に位置付けていきたい。

コミュニティについて

一小学校区、一コミュニティを継承する。

要望文教住宅都市憲章の具現化に向けた習志野市の姿勢を明確に打ち出すためにも生涯学習を大きな柱に位置付けることを提言する。

通学路の安全対策

関係機関と合同調査を実施する。

要望「通学路安全対策協議会」を設置し安全対策を抜本的に見直ししてほしい。

みんなの党

市民目線・民間目線で質問してきました！

性犯罪で二度逮捕の職員の処罰が停職5か月では甘すぎる。民間なら即懲戒解雇。なぜ前科者を雇用するのか。貴重な税金で給与が支払われる。市民は納得しない

公務員法や本市の懲戒処分の指針と他市の事例を参考に判断した。

津波の一時避難施設として民間ビルの契約は?

避難ビル指定の規定を策定し施設と協議する。

児童注意情報が出たら防災無線で知らせるは?

特定が難しいので防災無線は使用しない。児童の知識や状況判断等の周知啓発に努めて行く。

被災瓦礫の受入れに向けて環境省に同行いただいたが、その成果は?

広域処理の現状、国費負担、最終処分場等、条件整備に向けた課題は整理できた。

条件が整った場合の受入れ可能量は?

年約920tが可能。
約3万円もするオフイスソフトではなく、無料あるいは廉価なオフイスソフトの使用について

他市事例等も研究し、本年度から情報政策課内部で試用する。習志野市所有のパソコンは約1千100台あり、最大3千万円程度の費用削減。

市東部のパーベキュー場の新規設置について
住宅街が多く、新規設置は厳しい。しかしニーズは高いので、香澄公園内の炉の増設を検討する。

ごみとして燃やしている樹木を薪として備蓄を

ごみ減量化の観点から薪材になり得る樹木は薪として備蓄及び行政内部にて試しに使用する。

新規起業・創業への市独自の支援について

船橋市や千葉市に囲まれている現状に危機感はある。商工会議所との連携、また市内の各大学との連携を行うことで支援を検討する。

JR津田沼駅南口通路の水たまり対策

平成24年度に暫定的な処理対策、平成26年度に抜本的な改善策を実施。

要望対策の早期実施。

管理水準の低下した空き家・ごみ屋敷対策
情報収集と本市の実態把握に努めて対策を検討

要望景観の悪化や防災防犯機能の低下、ごみなどの不法投棄を誘発するので、所有者に適切な管理を勧告できる管理条例の制定を。

駅周辺の環境美化活動
JR津田沼駅は①啓発看板の設置②啓発路面シートの貼付③喫煙スペースの白線の引き直し

大久保・津田沼・谷津駅JR新習志野駅は歩きタバコ・ポイ捨て禁止を告知した路面シートの貼り替えを実施。

防犯カメラの設置事業
藤崎4区域、花咲1区域に平成24年度中に設置。

日本共産党

復興交付金申請で
幼保統廃合は道理なし
保育所・幼稚園の統廃合(袖ヶ浦こども園)は



震災前の計画。復興交付金申請は道理がない。復興庁のメニューにある。今後は市街地液状化対策事業を検討する。

Q 市役所本庁舎とあわせ、消防庁舎まで建てかえる必要性はあるのか？

A IS値が0.36耐震補強だと約8億円かかる。

要望消防庁舎との同時建てかえの場合、民間施設と同一の敷地(PFR)は難しい。従来手法による資金調達の検討に力を注いだ方が合理的である。

Q 仮庁舎移転による市民の利便性低下の対策は？

A 庁舎間を巡回する車両(車いす可)を運行予定。

Q 若松保育所、袖ヶ浦第二保育所の私立化がイドライン順守について市民等への情報公開は？

A 市民や議会からの問い合わせに答えられるよう努めていく。

Q 子ども子育て新システムで、待機児童は解消できるのか？

A 認可外施設の活用で待機児童を解消する。

要望新システム導入に反対。認可保育所の増設を、市独自の保育基準は？

A 当面、現行の市独自基準の維持を基本とする。

Q 自衛隊習志野基地でのパラシュート落下事故の対策について

A 人体ダミーの降下試験は行わない。

Q 食品用放射能測定器を市で購入すべき

A 消費者庁から無償貸与を受ける。

Q JFE跡地の地下水汚染の状況について

A 基準値を超える物質が

出ているので継続対策。

Q 実小小学校は高台の特殊な地形。砂埃は住民の上に降ってくる。具体的な対策について

A 自動散水設備の対応は困難、現在の設備を活用防砂用ネットを購入する。

習志野クラブ

赤ちゃんから高齢者まで笑顔が輝くように!!

Q 審議会の答申に反し、施策を行った事はあるか

A 過去には、前例がない。

Q 住所は誰のものか

A 公共の福祉に資する。

Q 市の原案は何を根拠に

A 法令や実施基準に適合

Q 町の境界線を定める際法令はどう規定しているか

A 道路、鉄道、軌道の線路、恒久的な施設、河川水路等と定めている。

Q 町の形状を決める際法令はどう規定しているか

A 境界が複雑に入り組んだり飛び地が生じない様簡明な境界線を形成する。

Q JR津田沼駅南口特定土地区画整理区域内で、複雑に入り組んでいる場所は何世帯あるか

A 約100世帯ある。

Q 谷津は由緒ある地名か

A 江戸時代の谷津村に由来している。

Q 開発地は既に住居表示がされているが全く違う地名に変更した例は

A 全国に事例がない。

Q 「奏の杜」と税金アップになるのか

A 公式な見解はない。

Q 民生委員の定員、欠員及び地域の実情に応じた定数、地区割りの変更は可能か

A 179名が委嘱され、欠員は1名。定数は民生委員児童委員協議会の意見を聞き、地域の実情を踏まえながら、地区割りの変更も含め県と協議していく。

Q 震災により被災した下水道について、日本下水道事業団に委託し、早期復旧を図ることはできないか

A 被災した下水道施設の香澄汚水幹線の一部について日本下水道事業団を有効活用していきたいと考えている。

Q 耐震改修工事に併せたリフォーム工事に助成することはできないか

A 耐震改修工事は耐力壁の補強を行うものであることから、付随工事として行う内装リフォーム工事についても助成を行っている。

Q 環境省グリーンニューディール基金(100%補助金)市当局の千葉県に対する来年度に向けた取り組みについて伺う

A 再生可能エネルギー等の導入により、災害に強く環境負荷の少ない地域づくりを目指し、平成25年度改めて申請する。

Q 実小小学校の防災倉庫設置予定について伺う

A 実小小学校については、最優先として考えている。

Q 旧鶴田家住宅大震災復旧について伺う

A 本市の貴重な文化財の復旧に努めていく。

Q 本市の貴重な文化財の復旧に努めていく。

Q 実小にある浜田川の源流(湧水池)整備予定について伺う

A 地域の方々に親しまれている水辺であると認識している。

Q 新市庁舎への、菊田公

民館の合築について伺う

A 現時点で、他の機能と複合化はできない。

Q 高齢化社会への対応として、地域包括ケアの展開について伺う

A 地域による支援として、高齢者見守りネットワークの充実を図っていく。

Q 高齢者保健福祉計画、第5期介護保険事業計画には、他市の計画と比べて年後の就労支援について内容が少なくない。セカンドライフとして、貴重な労働力をシルバークリッパなどを通じ活用してはどうか

A ひとりのひとりの貴重な経験を生かし、無理のない形で就労支援していく。

Q 幼・小・中学校の避難マニュアルについて、地域との統一性はあるのか伺う

A 統一性が十分でない部分もある。

要望地域・学校間で差があるとの事の際危険であるので早期に統一を。その他、子どものインターネット・スマートフォン有害サイト対策を。

分は、なぜ習志野だけがゼロ回答となったのか？

A 被災地域の認定子ども園整備について申請をしたが、通らなかった。また、他市と違い習志野では災害復旧事業として既に別途国の補助金を受けたため、復興交付金の対象事業が少ない事情もある。

要望浦安市も一次では厳しかった。今後期待する

Q 習志野市内の観光資源のPR及び取り組みは？

A 谷津バラ園・巨人軍発祥の地の案内看板については指摘のとおり、不備がある。改善をしていく。

平成23年度の町会からの申請額約4千万円。40W以上は40Wに換算した補助額は約2,300万円。交付額約2,170万円。

Q 補助対象額と交付額と差があるのは何故か

A 予算と設置実数が違うので交付できていない。

Q 是正すべきだ。修理費も町会持ちだ。任意団体の町会に払わせるのは問題だ、是正せよ

A 是正したい。対応をしっかりと検討する。

Q 交通不便地域問題、消費税問題なども質問した

A 是正したい。対応をしっかりと検討する。

行っていった。

要望毎年計画を調整せよという国の災害基本法は無視するのか。真面目に取り組んでもらいたい。

Q 宮本市長は、荒木前市長の20年間の市政を評価している。しかし、荒木前市長は、選挙資金を得るために、区画整理事業地の業者の土地を買収する念書を書き、5千万円の選挙資金を得た。

さらに、市有地を2重買いし、業者に莫大な利益を提供した。また、4万5千円のまがい物の骨董品を、4千万円で購入したが、金の出所は未だに不明である。選挙前にはポトピアの誘致に反対したが、当選後に手の平を返し、誘致し市民をだました。区画整理地権者の母子の宅地を強制立ち退きを強行し、寒風にたたき出し非人間的行為をした。この様な荒木前市長の悪政の20年間で、宮本市長は評価し、荒木前市政を継続していくとしている。宮本市長の答弁はなかった。

Q 強引な強制執行

Q JR津田沼駅南口開発は前市長と前市長後援会に私物化されている。79歳の高齢者と娘の住む家に前代未聞で強引な強制執行をした。谷津の住居表示変更も強引だ。高齢者は、その後どうなっているのか

Q 谷津は、谷津の住居表示で、なぜ、住み慣れた住居表示を変更しなければならぬのか。なぜ、住み慣れた地域の住居表示が分断されなければならないのか。谷津の地名を讀みづらい「奏の杜」に変える本当の理由は。

前市長の後援会長である三代川理事長には、総額47億2千800万円の現金(補助金が投入される)保留地売買契約書覚書平成18年12月20日付保留地の売買に係る覚書の開示要求をしてきた。73億9千万円の土地取引の実態を知る必要がある

ならしの志民の会

市長のまちづくり・教育目標を聞きたい!!

Q 「教育」について伺う。

A 公立学校の魅力の1つに、「郷土愛」の育成がある。現況、教職経験5年未満の市外出身者が100名いる。教員初期層への「習志野を知る」研修の充実をすべしと思うが?

A 「習志野の歴史」を学ぶ機会は、大事な事であると理解している。

Q 「ごみ行政」について伺う。

A 5月発行の「一般廃棄物処理基本計画(改訂版)」は、本市の「ごみ溶融炉施設」の特徴を活かされず、ごみ処理経費が増大する「プラスチック分別」や市長が議会で「家庭ごみ収集処理の有料化」はしないと発言したはずの、「有料化の検討が盛り込まれているのは、おかしい。策定し直すべきだ

A 計画策定過程で、市民からの「パブリックコメント」や「環境審議会」の答申を受けているので、策定し直す考えは無い。

人件費削減政策・復興交付金について

Q 市長の政策でもある時、間外勤務削減の成果と現状はどうなっているか?

A 震災の影響もあり、年間では35%の増加、11月以降では9.2%の削減となっている。

要望取り組み後の92%の削減は評価できる。引き続き再任用職員の適正配置等取り組んで欲しい。

Q 復興交付金の第二次配

真政会

人件費削減政策・復興交付金について

Q 市長の政策でもある時、間外勤務削減の成果と現状はどうなっているか?

A 震災の影響もあり、年間では35%の増加、11月以降では9.2%の削減となっている。

要望取り組み後の92%の削減は評価できる。引き続き再任用職員の適正配置等取り組んで欲しい。

Q 復興交付金の第二次配

新社会党

防犯灯(街灯)電気料金町会負担を市負担に

Q 防犯灯(街灯)電気料金を町会・自治会が負担し、市が補助している現状の説明を

A 料金支払い、器具修理を町会にお願いしている。料金は40W定額料金に設置数を乗じた額を上限に予算の範囲内で補助している。東電が値上げ表明をしたので検討する。

Q 市から補助している内容が問題だが

市民の声を聞く会

復興交付金を市長は真剣になって申請したのか

Q なぜ本市だけゼロ回答か

A 申請した保育園、幼稚園は復旧されているので評価されなかった。

Q 当然だ。復旧すべきところはたくさん残されている。なぜもっと慎重に申請しなかったのか

A 「・・・」

Q 介護保険でサービス時間が減った利用者は何人なのか? 敬老会、金婚式、がん検診の有料化など高齢者いじめをやめ、制度をもとに戻せ

A それは出来ない。

要望財政が厳しいと高齢者の事業を削っているながら8億円も出して旧ホテルを仮庁舎にするが、税金の使い方が間違っている。

Q 防災会議を5年間も開かず地域防災計画策定を2千600万円で委託している。おかしい

A 平成18年に防災計画は



行っている。

要望毎年計画を調整せよという国の災害基本法は無視するのか。真面目に取り組んでもらいたい。

Q 宮本市長は、荒木前市長の20年間の市政を評価している。しかし、荒木前市長は、選挙資金を得るために、区画整理事業地の業者の土地を買収する念書を書き、5千万円の選挙資金を得た。

さらに、市有地を2重買いし、業者に莫大な利益を提供した。また、4万5千円のまがい物の骨董品を、4千万円で購入したが、金の出所は未だに不明である。選挙前にはポトピアの誘致に反対したが、当選後に手の平を返し、誘致し市民をだました。区画整理地権者の母子の宅地を強制立ち退きを強行し、寒風にたたき出し非人間的行為をした。この様な荒木前市長の悪政の20年間で、宮本市長は評価し、荒木前市政を継続していくとしている。宮本市長の答弁はなかった。

Q 強引な強制執行

Q JR津田沼駅南口開発は前市長と前市長後援会に私物化されている。79歳の高齢者と娘の住む家に前代未聞で強引な強制執行をした。谷津の住居表示変更も強引だ。高齢者は、その後どうなっているのか

Q 谷津は、谷津の住居表示で、なぜ、住み慣れた住居表示を変更しなければならぬのか。なぜ、住み慣れた地域の住居表示が分断されなければならないのか。谷津の地名を讀みづらい「奏の杜」に変える本当の理由は。

前市長の後援会長である三代川理事長には、総額47億2千800万円の現金(補助金が投入される)保留地売買契約書覚書平成18年12月20日付保留地の売買に係る覚書の開示要求をしてきた。73億9千万円の土地取引の実態を知る必要がある

ならしの志民の会

市長のまちづくり・教育目標を聞きたい!!

Q 「教育」について伺う。

A 公立学校の魅力の1つに、「郷土愛」の育成がある。現況、教職経験5年未満の市外出身者が100名いる。教員初期層への「習志野を知る」研修の充実をすべしと思うが?

A 「習志野の歴史」を学ぶ機会は、大事な事であると理解している。

Q 「ごみ行政」について伺う。

A 5月発行の「一般廃棄物処理基本計画(改訂版)」は、本市の「ごみ溶融炉施設」の特徴を活かされず、ごみ処理経費が増大する「プラスチック分別」や市長が議会で「家庭ごみ収集処理の有料化」はしないと発言したはずの、「有料化の検討が盛り込まれているのは、おかしい。策定し直すべきだ

A 計画策定過程で、市民からの「パブリックコメント」や「環境審議会」の答申を受けているので、策定し直す考えは無い。

ならしの志民の会

市長のまちづくり・教育目標を聞きたい!!

Q 「教育」について伺う。

A 公立学校の魅力の1つに、「郷土愛」の育成がある。現況、教職経験5年未満の市外出身者が100名いる。教員初期層への「習志野を知る」研修の充実をすべしと思うが?

A 「習志野の歴史」を学ぶ機会は、大事な事であると理解している。

Q 「ごみ行政」について伺う。

A 5月発行の「一般廃棄物処理基本計画(改訂版)」は、本市の「ごみ溶融炉施設」の特徴を活かされず、ごみ処理経費が増大する「プラスチック分別」や市長が議会で「家庭ごみ収集処理の有料化」はしないと発言したはずの、「有料化の検討が盛り込まれているのは、おかしい。策定し直すべきだ

A 計画策定過程で、市民からの「パブリックコメント」や「環境審議会」の答申を受けているので、策定し直す考えは無い。

